

令和3年「落花生」生育情報 (第4報)

令和3年11月4日
千葉県農林水産部
生産振興課

※本資料は、落花生生産者へ落花生の生育情報を提供するものです。
調査地点で収穫状況をまとめたものであり、県内全域の収量を保証するものではありません。

1 令和3年産落花生の作柄

各調査ほ場の収穫調査の結果は、表1のとおりです。

本年は、7月上旬は日照時間が少なく、降雨量が多くなり、7月下旬は多照で降雨量は少なくなりましたが、全般的に気象条件は平年並みに推移したため、さや実数は平年並みに確保されました。また、さや実が肥大する7月下旬から8月中旬にかけては、平年と比較して気温が高く、日照時間も長くなり、粒の肥大は進みました。しかし、「おおまさりネオ」では、さや実の肥大期が7月中旬から8月中旬に迎えたほ場では、降雨量が少なかったほ場で幼芽褐変症の発生が一部で見られました。

2 来年の栽培に向けて、優良種子を準備しよう

今年度に収穫された「おおまさりネオ」で、幼芽褐変が局所的に発生しています。次の写真のような幼芽褐変が見られる場合は、出芽率に影響することがありますので、次年度の落花生栽培に向けて、種子に幼芽褐変がないか確認しましょう。中度～重度の幼芽褐変が見られる場合は、種子を多めに確保してください。

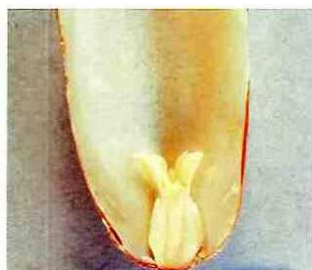
また、異型莢を除去して優良種子の確保に努めましょう。

幼芽褐変症（中・重度）の発生率（％）

	千葉半立	ナカテユタカ	おおまさりネオ	Qなっつ
令和3年	0.0	0.0	1.3	0.0
平年値	2.7	3.9	1.9	1.2

*発生率は、中度及び重度の合計から算出。平年値はH26年からR2年（過去7年間）の調査データから最大・最小を除く5か年の平均。ただし、「Qなっつ」はH28～R2年の平均値。

幼芽褐変の程度別症状



健全種子



幼芽褐変 軽度
本葉が褐変
出芽率9割



幼芽褐変 中度
胚軸上部が褐変
出芽率6割



幼芽褐変 重度
本葉全部と胚軸上部が褐変
出芽率1割

3 定期的に種子の更新をしよう

品種の特性を維持するには、種子更新が必要です。3～4年に1回程度の定期的、計画的な更新に努めましょう。

表 1 落花生収穫時調査結果（調査用のサンプルは、収穫後、乾燥機で通風乾燥させた）

品種名	年次	は種日	開花期	収穫日	さや実数 (個/m ²)	乾燥さや実重 (g/m ²)	全粒重 (g/m ²)	上中実		むき実 歩合 (%)	上中実 百粒重 (g)	上中実 歩合 (%)
								粒数 (個/m ²)	粒重 (g/m ²)			
千葉半立	本年	5/30	7/10	10/10	244 (99%)	347 (111%)	226	263	199	65	75	88
	前年	5/31	7/9	10/5	226	309	200	228	186	63	80	91
	平年 (7年中5年平均)	5/30	7/9	10/5	247	312	213	257	196	68	77	92
ナカテユタカ	本年	5/23	6/29	9/13	240 (98%)	358 (95%)	255	292	243	71	82	95
	前年	5/29	7/8	9/17	218	349	245	269	233	70	86	95
	平年 (7年中5年平均)	5/23	7/4	9/15	244	376	269	296	257	71	85	95
Qなつつ	本年	6/1	7/6	9/26	232 (91%)	313 (77%)	215	248	199	68	77	92
	前年	6/2	7/8	9/26	196	377	264	259	254	69	95	96
	平年 (5年平均)	5/28	7/6	9/24	256	405	281	310	270	69	86	95

* 本年値、及び前年値は、各品種の調査結果の平均値。

* さや実数及び乾燥さや実重の本年値の（）内は平年値との対比。

* 平年値はH26年からR2年（過去7年間）の調査データから最大・最小を除く5か年の平均。ただし、Qなつつは、H28～R2年の平均値。

* なお、H27～30年は豊作傾向であったため、過去5年間で平年値としている「Qなつつ」は他の品種と比べて、平年値との対比の数値が相対的に低くなっている。

表2 (参考) 落花生研究室(八街市)の落花生収穫時調査結果作況(本年の値)

(調査用のサンプルは、収穫後、乾燥機で通風乾燥させた)

	品種名	は種日	開花期	収穫日	さや実数 (個/m ²)	乾燥 さや実重 (g/m ²)	全粒重 (g/m ²)	上中実		むき実 歩合 (%)	上中実 百粒重 (g)	上中実 歩合 (%)
								粒数 (個/m ²)	粒重 (g/m ²)			
標 播	千葉半立	5/20	7/1	10/7	329 (108%)	417 (112%)	283	357	265	68	74	94
	ナカテユタカ	5/20	6/28	9/16	284 (104%)	380 (101%)	255	295	232	67	79	91
	おおまさリネ オ	5/20	6/28	9/24	314 (106%)	437 (106%)	257	261	250	59	96	94
	Qなっつ	5/20	6/30	9/16	293 (105%)	473 (126%)	292	243	243	62	67	83
晩 播	千葉半立	6/9	7/15	10/16	307 (120%)	408 (125%)	285	359	268	70	75	95
	ナカテユタカ	6/9	7/13	9/29	261 (98%)	357 (93%)	246	295	231	69	78	94
	おおまさリネ オ	6/9	7/13	10/8	242 (84%)	387 (98%)	257	235	251	67	107	97
	Qなっつ	6/9	7/15	9/29	260 (101%)	365 (98%)	248	316	235	68	74	95

* 落花生研究室のすべての品種の栽植密度は、5,128 株/10a。

* 各品種ともにかん水せずに栽培した。

* さや実数及び乾燥さや実重の () 内は平年値との対比。平年値はH28~R2年の平均値。